

第1学年1組 美術科 学習指導案

1 題材名 『持ちたい・見せたいブックカバー』 ～文字と形の構成～

2 題材について

(1) 生徒観

学校全体が落ち着いた雰囲気の中、1年生も意欲を持って授業に取り組んでいる。中には、一人で課題を理解し進めることができない生徒もいるが、周りの友達が声をかけ、助け合って学習している。美術の授業でも和やかに、意欲的に取り組む生徒が多い。

デザインに関連した学習としては、1学期に偶然の形(スクリブル)からデザインする学習や、身の回りの小物を感光紙に映しだした形から構成する学習を行った。以上のような学習を基に、本題材では、より見通しをもったデザイン活動を体験させたい。

(2) 題材観

ブックカバーの制作は、デザインする上で、発想から作品になるまでの自由度が高く、幅広い設定ができる題材である。今回は、色数を制限し、作品に入れる四季の漢字は一文字とした。デザインの学習を始めたばかりの1年生に、形の効果と彩色の技能を学ばせるにあたり、あえて条件を絞ることで、ブックカバーの色や形をじっくりと吟味し、配置やバランスなどの構成上の効果を実感しながら学習することができる考えたからである。また、ブックカバーは自分が使って楽しむ要素と、人に見せるという要素も持っている。制作し自分が使うことで制作の喜びを味あわせるとともに、人に見せるという伝達のデザインも意識させ、2年次で制作するポスターの学習につなげていきたい。

題材の中で扱う、レタリングの学習は、生活における美術の働きへの気づきを期待するものである。今後のデザインとかかわるすべての学習活動につなげていきたい。

(3) 指導観

デザインの学習を始めたばかりの1年生はデザインに関する知識や技能に乏しく、制作することへの不安を持ちやすい。条件を絞ることで指導を徹底し、誰もが作品を完成させることができるようにして、自信をつけさせたい。その際、条件の制限が、制作上の苦痛にならないよう、生徒に助言を行う。全体指導としては、レタリングや彩色の技術の指導を徹底し、デザインの基礎的な知識と、デザインする楽しさを伝えていきたい。

3 学習指導要領上の位置付け

A表現(2) 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。

ア 目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練ること。

イ 他者の立場に立って、伝えたい内容についてわかりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。

ウ 用途や機能、使用する者の気持ち、材料などから美しさなどを考え、表現の構想を練ること。

A表現(3) 発想や構想したことなどを基に表現する活動を通して、技能に関する次の事項を指導する。

ア 形や色彩などの表し方を身につけ、意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して表現すること。

イ 材料や用具の特性などから制作の順書を考え、見通しを持って表現すること。

- B鑑賞(1) 美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を指導する。
- ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること。

〔共通事項〕

- ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。
- イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

4 目標及び評価規準

(1) 題材の目標

ブックカバーの制作を通して、伝えたい内容についてわかりやすさや美しさなどを考えて表現することに関心を持ち、イメージを持って表現の構想を練り、形や色彩、用具の生かし方を考え制作するとともに、表現の美しさや、美と機能性の調和などを感じ取り、自分の価値意識を持って味わう。

(2) 評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	観賞の能力
表現 ・伝えたい内容についてわかりやすさや美しさなどを考えてブックカバーを制作することに関心を持ち、主体的に構想を練り、形や色彩などの表し方、材料や用具の生かし方などを工夫してより良く表現しようとしている。 鑑賞 ・形や物のイメージによる表現と伝達効果や造形的な良さや美しさに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。	・目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かして構成や装飾を考え、表現の構想を練っている。	・形や色彩などの表し方を身に付け、意図に応じて材料や用具を生かしたり、制作の順序を考え、見通しを持ったりしながら、創意工夫して表現している。	・感性や想像力を働かせて、作者の意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り自分の思いや考えをもって味わっている。

(3) 学習活動に即した評価規準

※アンダーラインは〔共通事項〕に関連した内容を示す

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	観賞の能力
表現 <u>関①</u> ・伝えたい内容についてわかりやすさや美しさなどを考えて表現することに関心を持ち主体的に構想を練ろうとしている。 表現 <u>関②</u> ・形や色の表し方、レタリングの技法を積極的に学び、より良く表現しようとしている。 鑑賞 <u>関③</u> ・形や物のイメージによる表現と伝達効果に関心を持ち、よさを感じ取ろうとしている。	発① ・ブックカバーの制作条件の <u>季節のイメージを感じながら、形や色を考</u> えている。 発② ・美的感覚を働かせて単純化や強調をしながら、 <u>形や色彩の効果を生かして見やすくわかりやすい構成をし</u> ている。	創① ・レタリングや単純化や強調などの表し方を身に付け、表したい感じを、創意工夫して表現している。 創② ・ポスターカラーの混色方法や彩色技能などを身に付け、 <u>イメージを持って表現している。</u>	鑑① 感性や想像力を働かせて、 <u>作者の意図と表現の工夫などを</u> 感じ取り自分の思いや考えをもって味わっている。

5 指導と評価の計画（9 時間）

□ は、「学習活動に即した評価規準」を示す。

学習のねらい・学習活動 ※「●」は、学習のねらい 「・」は、学習活動	学習活動に即した評価規準				評価方法、留意点等 【 】は、評価方法・資料を示す。
	関	発	創	鑑	
1 鑑賞・発想（1 時間） ●線による表現(参考作品)を鑑賞し、季節のイメージを1本の線で表現する面白さを知る。 ・参考作品から感じ取ったイメージを発表し合う。 ・季節をイメージして一筆書の線をデザインし、鑑賞し合う。	関①			鑑①	鑑①表現意図や工夫を感じ取り、自分の思いや考えをもって述べているかなど 【発言・自己評価カード】 関①表現への意欲や態度 【制作の様子、アイデアスケッチ】
2 課題の把握と発想構想（1 時間） ●ブックカバーのデザインに興味を持ち、条件を理解する。 ・参考作品を見て、表現の工夫を発表する。 ・条件を整理して理解する。 ●季節のイメージを線と文字の配置で表現しブックカバーをデザインする。 ・アイデアスケッチをする。 ・文字の配置を考える。 ・配色を考える。		発① 発②			発①季節のイメージを生かして構想が練れているか 【アイデアスケッチ・対話】 発②文字の配置などのバランスを考えてデザインをしているか 【アイデアスケッチ・対話】
3 レタリングの技能を学ぶ（2 時間） ●書体について関心を持ち、レタリングの技法を知る。 ・明朝体の練習を通してレタリングの手順を学ぶ。 ・明朝体・ゴシック体の特徴について理解し、技法を身に着ける。 ・方眼紙にレタリングを行い、自分の技能を確かめる。	関②		創①		関②表現への意欲や態度 【制作の様子、自己評価カード、作品】 創①レタリングや単純化や強調が的確にされ、イメージが伝わる作品になっているか 【ワークシート、作品】
4 制作（4 時間） ●配色と、形や大きさ、配置の効果を考えながらイメージを深める。 ・イメージとアイデアを検討し、より効果的なデザインに練り直す。 ●単純化や協調など自分のアイデアに合う方法を工夫し下がきする。 ・表現意図を大切にしながら、下書きをし、レタリングを加える。 ●水加減や筆づかいなど絵の具の着色の技能を向上させ美しく仕上げる。 ・デザインに合った配色を確かめる。 ・面相筆、平筆の使い方を覚える。 ・考えたデザインが実現するように見通しをもって丁寧に彩色する。	関②	発②	創②		発②イメージにあった単純化や強調ができているか 【作品・対話】 関②表現への意欲や態度 【制作の様子・自己評価カード】 創②イメージにあった単純化や強調、配色ができているか 【作品】

5 鑑賞 (1 時間) ●お互いの作品を鑑賞し、表現の工夫や作品の美しさ、効果などを感じ取り、味わう。 ・カラーコピーした作品を、実際に本に装着して、説明と感想を書く。 ・お互いの作品を鑑賞してコメントを書き、批評し合う。	関③			関③鑑賞への意欲や態度 【ワークシート、発言内容】 鑑③作品のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、思いや考えをもって味わっているか 【ワークシート、発言内容】
<授業外> 【完成作品等からの評価】 【自己評価表、ワークシート、スケッチブックからの評価】		発②	創① 創②	※ 発② 創① 創② については、完成作品から再度評価し、必要に応じて修正する。特に発想や構想については、自分の作品の解説を記述したワークシートや自己評価カード等を併せて見取るなどの工夫をする

6 本時の学習(6/9時間)

(1) 目 標

- 関② 形や色の表し方、レタリングの技法を積極的に学び、より良く表現しようとしている。
- 創② ポスターカラーの混色方法や彩色技能などを身に着け、イメージを持って表現している。

(2) 準 備

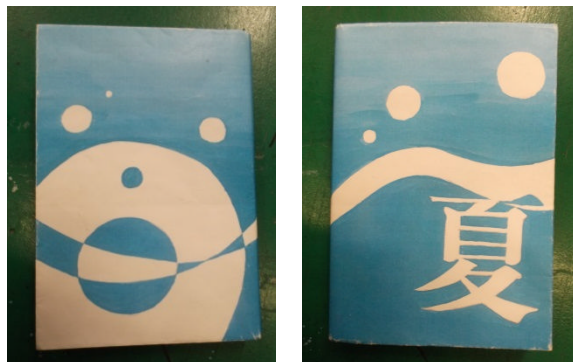
教師：ポスターカラー、水入れ、試し用紙、テレビ、説明画像

生徒：作品（スケッチブック）、ポスターカラー絵の具セット、筆、筆洗、ふきん

<例示した参考作品>



デザインした全体図



ブックカバーにした状態

<絵具の着色技法に関する資料>



(3) 展 開

	◎学習のねらい ◇学習活動	指導上の留意点 [共]: [共通事項] にかかる内容	評価と手立て [◎: 十分満足できる状況] [◆: C 判断生徒への手立て]	準備等
導入 5分	◎本時の目標と学習内容を理解する。 ◇「彩色の技法を身に付け、美しく着色ができるようにすること」を目標として理解する。 ◇筆の使い方を学ぶ。 ◇彩色の手順を学ぶ。	- 参考作品を使って目標を説明する。 - 手順と陥りやすい失敗について、映像を使って解説する。 - 遅れている生徒のために、下がきのポイントも示すようにする。		黒板に目標と作業のポイントを示す。
展開 35分	◎イメージに合うよう配色を決定する。 ◇配色とイメージの関係について学ぶ。 ◇自分のイメージに合った配色を考える。 ◎面相筆等を活用して、外枠から彩色を行う。 ◇イメージ合った色づくりを行う。 ◇正しい手順で彩色を行い、美しく仕上げる。	- 参考作品を使って、<u>配色によってイメージが大きく変わることを実感させる。[共]</u> - 指導を撤退するために、個別指導で絵の具の混色方法や水加減などの基本的事項ができているか確認し、出来ていない生徒にはアドバイスする。※状況により一斉指導する。	<u>関②</u> 表現への意欲や態度 【制作の様子・作品】 ◎イメージ合った、配色を考え筆づかいや水加減に気を付けたりしながら、作品を美しく仕上げようとしている。 ◆つまずきに応じた支援をして、励ます。 <u>創②</u> イメージに合った単純化や強調、配色ができているか 【作品】 ◎選んだ季節のイメージに合った色をつくり出し、適切で美しい彩色ができている。 ◆イメージと色の関係が適切に見えない生徒には、対話をしながら、イメージ合った色になるための手立ての相談にのるようにする。 ◆彩色が適切にいかない生徒には、水加減や筆の使い方を練習させ、途中からでも美しい彩色になるよう指導する。	水加減の見本を各班に配布する。
まとめ 10分	◎本時のまとめとする。 ◇自己評価をして、本時の制作を振り返る。 ◇次の課題を確認する。 ◇片付けをする。	- イメージと彩色が合った作品、美しい仕上げをしている作品を紹介する。 - 課題のある昨比の改善方法を示し、意欲を向上させる。		

<参考>

(1) 生徒の作品

